

【社会福祉法人 東京光の家 総括貸借対照表】
平成25年3月31日現在 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	577,212	流動負債	91,585
現金預金	436,479	未払金	53,542
未収金	105,282	預り金	7,554
立替金	538	経理区分間借入金	9,489
経理区分間貸付金	9,489	会計単位間借入金	20,998
会計単位間貸付金	20,998		
商品・製品	3,206	固定負債	102,260
原材料	1,217	設備資金借入金	29,970
固定資産	2,364,283	退職給与引当金	72,290
基本財産	1,233,264	負債の部合計	193,846
土地	169,058	純資産の部	
建物	1,064,206	基本金	418,832
その他の固定資産	1,131,018	国庫補助金等特別積立金	415,557
機械及び装置	8,578	その他の積立金	1,031,465
車輦運搬具	1,634	人件費積立金	304,500
器具及び備品	16,292	建設積立金	100,000
措置施設繰越特定預金	350,000	施設整備等積立金	469,000
施設整備積立預金	269,000	その他の積立金	152,500
人件費積立預金	154,500	工賃変動積立金	2,465
建設積立特定預金	100,000	設備整備等積立金	3,000
その他の積立特定預金	152,500	次期繰越活動収支差額	881,794
工賃変動積立預金	2,465		881,794
設備整備等積立預金	3,000	(うち当期活動収支差額)	89,011
その他の固定資産	73,047	純資産の部合計	2,747,649
資産の部合計	2,941,495	負債及び純資産の部合計	2,941,495

脚注：減価償却費の累計額 1,115,904千円
注記：固定資産の減価償却の方法…定額法

【社会福祉法人 東京光の家 総括資金収支計算書】
(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
就労支援事業収入計	50,044
就労支援事業支出計	48,408
就労支援事業活動資金収支差額	1,635
経常活動及び福祉事業収入計	1,692,228
自立支援費等収入	627,703
利用料収入	1,829
措置費収入	201,812
私的契約利用料収入	53,878
補助事業等収入	2,134
経常経費補助金収入	315,632
寄付金収入	2,909
雑収入	34,847
借入金利息補助金収入	538
受取利息配当金収入	441
会計単位間繰入金収入	347,500
経理区分間繰入金収入	103,000
経常活動及び福祉事業支出計	1,637,751
人件費支出	758,770
事務費支出	284,120
事業費支出	143,822
借入金利息支出	538
経理区分間繰入金支出	103,000
会計単位間繰入金支出	347,500
経常活動福祉事業活動資金収支差額	54,476
施設整備等収入計 (※賛助会寄付金含む)	57,047
施設整備等支出計	18,926
施設整備等資金収支差額	38,121
財務収入計	0
財務支出計	45,860
財務活動資金収支差額	△ 45,860
当期資金収支差額合計	48,373
当期末支払資金残高	481,203

【社会福祉法人 東京光の家 総括事業活動収支計算書】
(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
就労支援事業活動収入計	50,044
就労支援事業活動支出計	49,618
就労支援事業活動収支差額	425
事業活動及び福祉事業活動収入計	1,256,389
自立支援費等収入	627,703
利用料収入	1,829
措置費収入	201,812
私的契約利用料収入	53,878
補助事業等収入	2,134
経常経費補助金収入	315,632
寄付金収入	2,909
雑収入	28,698
国庫補助金等特別積立金取崩額 (事業)	21,790
事業活動及び福祉事業活動支出計	1,224,609
人件費支出	758,770
事務費支出	269,983
事業費支出	143,822
減価償却費	44,045
引当金繰入	7,987
事業活動及び福祉事業活動収支差額	31,780
事業活動外収入計	451,480
事業活動外支出計	451,038
事業活動外収支差額	441
経常収支差額	32,647
特別収入計 (※賛助会寄付金含む)	57,047
特別支出計	684
特別収支差額	56,363
当期活動収支差額	89,011
前期繰越活動収支差額	828,652
当期末繰越活動収支差額	917,664
次期繰越活動収支差額	881,794

※賛助会寄付金額 50,314千円

平成二四年度
社会福祉法人 東京光の家 事業報告

はじめに
〜総括的報告〜

早いもので、今年も事業報告を
させて頂く時期を迎えました。
日頃は私ども東京光の家の視覚
障害者福祉事業に対し、格別なる
ご厚情のもとご指導ご鞭撻ご支援
を賜り心から感謝申し上げます。
皆様方の温かいご援助のおかげ
で、事業全体も滞り無く取り運ば
れ、微力ながらも社会的責任を果
たすことが出来ました。各事業体
の報告をさせて頂きます。

施設で生活する利用者たちも、元
気で明るく、諸訓練に励みながら
自立に向けて頑張っています。
又、平成二五年一月には、当法
人にとって五番目の施設となる
「光の家就労ホーム」を開設致し
ました。これは、地域で生活する
障害者(知的等)の方々を対象と
した、地域福祉を推進するための
新たな通所就労施設となります。
以下、平成二四年度の事業状況
のご報告をさせて頂きます。

【光の家新生園 資金収支計算書】

科 目	金 額
経常収入計	425,291
自立支援費等収入	327,102
補助事業等収入	1,125
経常経費補助金収入	91,654
寄付金収入	293
雑収入	5,027
受取利息配当金収入	88
経常支出計	406,215
人件費支出	253,169
事務費支出	14,731
事業費支出	35,314
経理区分間繰入金支出	103,000
経常活動資金収支差額	19,076
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	285
施設整備等資金収支差額	△ 285
財務収入計	0
財務支出計	10,000
財務活動資金収支差額	△ 10,000
当期資金収支差額合計	8,791
当期末支払資金残高	138,511

【光の家栄光園 資金収支計算書】

科 目	金 額
就労支援事業収入計	49,825
就労支援事業支出計	47,601
就労支援事業活動資金収支差額	2,223
福祉事業収入計	358,438
自立支援費等収入	295,235
補助事業等収入	973
経常経費補助金収入	54,661
寄付金収入	295
雑収入	7,183
受取利息配当金収入	90
福祉事業支出計	346,467
人件費支出	184,669
事務費支出	17,250
事業費支出	43,048
会計単位間繰入金支出	101,500
福祉事業活動資金収支差額	11,971
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	123
施設整備等資金収支差額	△ 123
当期資金収支差額合計	14,071
当期末支払資金残高	163,822

【光の家就労ホーム 資金収支計算書】

科 目	金 額
就労支援事業収入計	219
就労支援事業支出計	807
就労支援事業活動資金収支差額	△ 588
福祉事業収入計	252,235
自立支援費等収入	5,366
経常経費補助金収入	595
寄付金収入	220
雑収入	52
受取利息配当金収入	1
会計単位間繰入金収入	246,000
福祉事業支出計	228,857
人件費支出	9,297
事務費支出	218,924
事業費支出	635
福祉事業活動資金収支差額	23,377
施設整備等収入計	5,000
施設整備等支出計	15,349
施設整備等資金収支差額	△ 10,349
当期資金収支差額合計	12,440
当期末支払資金残高	12,440

※各資金収支計算書 会計期間：

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

単位：千円(千円未満切捨)

【法人本部 資金収支計算書】

科 目	金 額
経常収入計	217,959
補助事業等収入	36
寄付金収入	1,687
雑収入	11,602
受取利息配当金収入	132
会計単位間繰入金収入	101,500
経理区分間繰入金収入	103,000
経常支出計	255,026
事務費支出	9,026
会計単位間繰入金支出	246,000
経常活動資金収支差額	△ 37,067
施設整備等収入計	50,249
施設整備等支出計	2,423
施設整備等資金収支差額	47,826
財務収入計	0
財務支出計	3,000
財務活動資金収支差額	△ 3,000
当期資金収支差額合計	7,759
当期末支払資金残高	72,297

【光の家神愛園 資金収支計算書】

科 目	金 額
経常収入計	428,040
措置費収入	201,812
私的契約利用料収入	53,878
経常経費補助金収入	162,065
寄付金収入	413
雑収入	9,208
借入金利息補助金収入	538
受取利息配当金収入	124
経常支出計	392,715
人件費支出	305,905
事務費支出	21,708
事業費支出	64,561
借入金利息支出	538
経常活動資金収支差額	35,324
施設整備等収入計	1,798
施設整備等支出計	745
施設整備等資金収支差額	1,052
財務収入計	0
財務支出計	31,990
財務活動資金収支差額	△ 31,990
当期資金収支差額合計	4,387
当期末支払資金残高	86,264

【光の家鍼灸マッサージホーム 資金収支計算書】

科 目	金 額
経常収入計	9,646
利用料収入	1,829
経常経費補助金収入	6,656
雑収入	1,156
受取利息配当金収入	3
経常支出計	8,190
人件費支出	5,727
事務費支出	2,199
事業費支出	262
経常活動資金収支差額	1,456
財務収入計	0
財務支出計	870
財務活動資金収支差額	△ 870
当期資金収支差額合計	586
当期末支払資金残高	5,364

【公益事業特別会計 資金収支計算書】

科 目	金 額
経常収入計	616
雑収入	616
経常支出計	278
事務費支出	278
経常活動資金収支差額	337
当期資金収支差額合計	337
当期末支払資金残高	2,503

法人事業

定款に定める施設事業体は次の五つであります。

- ①光の家新生園（障害者自立支援法による指定障害者支援施設（生活介護定員五四名・機能訓練定員六名・施設入所支援定員五五名・短期入所定員二名））
- ②光の家栄光園（障害者自立支援法による指定障害者支援施設（生活介護定員七〇名・就労継続支援B型定員一〇名・施設入所支援定員六〇名・短期入所定員二名））
- ③光の家神愛園（生活保護法による救護施設（定員八〇名））
- ④光の家就労ホーム（障害者自立支援法による障害者通所就労施設（生活介護定員一〇名・就労継続支援B型定員一〇名））
- ⑤光の家鍼灸マッサージホーム（障害者自立支援法による盲人ホーム）

更に、右五つの施設を統一的・総合的に結ぶ部門として総務部（総務課・医務課・食事課・地域交流センター）があり、又、全施設事業体に亘る横断的組織体をもって活動する一〇数余りの専門

委員会（例・防災活動委員会・安全衛生委員会・苦情解決委員会等々）があります。

又、地域福祉支援事業として同行援護従業者の養成事業を実施している福祉教育研修室の他に、地域福祉相談室、盲重複障害者福祉研究室、地域貢献活動室があり、地域サービスの振興・発展に貢献することを目的としています。

以下、各事業施設の活動状況等についてご報告いたします。

指定障害者支援施設

光の家新生園

光の家新生園の利用者は、視覚障害に加え、他の障害を併せ持つ盲重複障害者である。その障害の特性を考慮し、利用者やその家族のニーズに合わせた個別支援計画を策定して支援の充実を図った。

一、利用者支援

平成二四年度は、千葉県立盲学校より一名、茨城県立盲学校より一名、児童施設の高摩藤倉学園から一名の三名の利用者を迎え、入所支援五七名、日中活動六七名でスタートし、八月には、新たに栄光園を利用しつつ新生園のサービ

スを利用する利用者一名を迎えた。

二、地域との交流

ミュージックトレナーニングの名称で訓練を行ったバンド「ひまわり」は、地域の行事「たきび祭」に今年度も参加した。又、例年同様に地域との交流行事（旭が丘ふれあい夏祭り・チャリティーパーザー・愛のサウンドフェスティバル）が行われ、地域の方々との交流ができた。

三、職員研修の充実

今年度は、新任層の職員に対し、年間を通して、支援マニュアル・職業人としてのマナー・氷山モデルからのケース研究等をテーマとして研修を実施し、職員の資質向上に努めた。その他、てんかんの研修や自閉症の研修そして、全国盲重複障害者福祉施設研究大会等の外部研修に参加して、幅広い知識を得ることができた。

四、保護者との繋がり

今年度も四月、八月、一二月と保護者会を開催し、利用者の支援状況等を報告した。又、年二回の施設便りに加え、日常的に健康状況等を報告した。

指定障害者支援施設

光の家栄光園

光の家栄光園は働くことの尊さと喜びを知るとともに、利用者の自立支援と社会活動への参加を促進することを目標に支援してきた。

一、利用者支援

平成二四年度は入所者六二名、通所者二〇名でスタートした。平成二四年三月から始まった短期入所事業は視覚障害以外の利用者の受入れも行った。短期間の利用のため利用計画、担当を明確にして対応した。引続き「安心と安全と希望」生活には喜びを」という東京光の家の基本方針を実現するために個別支援の充実を図り多様なニーズに対応できるように努めていきたい。

就労支援事業の収入は目標の四一〇〇万円を超え四二六九万円だった。「衆議院選挙公報点字版」の受注ができたことや、助成をいただいて導入したカラー印刷機等による墨字印刷部門が軌道に乗ってきたためである。今後も引き続き新しい作業種目の開拓や営業に力を入れていきたい。

二、地域との交流

日野わーく・わーく（日野市

授産事業地域連携システム事業)

への積極的な参加や正秋バンド、「シヨップアガベ」の営業等、さまざまな機会を通して地域の人々と自然なつながりを持つことができた。

三、職員研修の充実

平成二四年度は内部研修に力を入れるとともに、一八の外部研修に職員を派遣して多くの刺激を受けた。

四、保護者との繋がり

四月、八月、一二月に保護者会を開催した。また、年二回の施設便りの発行と、利用者一人ひとりの状況をミニ通信で各保護者にお知らせした。

救護施設

光の家神愛園

光の家神愛園では視覚障害に加えて、精神障害、アルコール依存症、知的障害等を併せ持つ盲重複障害者、重複障害は無くとも、人生半ばにして視力を失い、精神面で多くの支援を必要とする方々等、約八〇名が生活している。平均年齢は六三歳。六五歳以上の高齢者も多く、殆どの者が、生活の様々な場面で支援を必要としている

るが、一人ひとりが人生を前向きに、生き甲斐をもって送れるよう、個別支援計画を作成し、必要な支援を行ってきた。

一、利用者支援

平成二四年度は秋に外部の障害者支援施設より一名の利用者を受け入れた。一方、三名の方が天に召された。年度末には長期入院により、男性一名が退所となった。

一月にはインフルエンザが大流行し、全体の約三割の者が罹患してしまった。幸い、全員が予防接種を受けていたことと、医務課スタッフや嘱託医の協力も有り、重症化する者が一人も無く終息する事ができた。

二、地域との交流

平成二四年度も数多くの地域の皆様がボランティアとして神愛園の活動を支えて下さり感謝である。行事を通して地域の皆様と交流を持つことができた。

三、職員研修の充実

救護施設関係の研修会に積極的に職員を派遣するとともに、保健所主催の研修会にも職員を派遣する事ができた。

四、保護者との繋がり

年に二回(八月、一二月)、保護者会を開催し、支援状況等を報

告した。施設便りを二回発行し、全保護者に配布した。

障害者通所就労施設

光の家就労ホーム

光の家就労ホームは、「地域福祉への貢献」を目的に、平成二五年一月一日に東京都から事業の認可を得た。主たる利用者は通所利用を基本とし、知的障害を有する方々。働く事を中心に、自立に向けた様々な活動を提供できるよう、平成二四年度は準備期間と位置付けて支援を行った。

一、利用者支援

新生園から五名、栄光園から一八名の利用者が、「紙漉き」「軽作業(建築用金具の組み立て)」「清掃業務」などの仕事に取り組み、併用利用を行なった。その他、相談支援、健康管理、食事提供、特別活動等の準備をした。

二、地域との交流

一階のレストラン業務を通して、今後、幅広い交流が図られていくことを目標としている。今年度は、地域の老人会や婦人会活動等で、貸切による受け入れや利用について打ち合わせ等を行なった。

三、職員研修の充実

事業開始に向けて、準備委員会が組織され、知的障害者関係施設の見学や、定期的な意見交換、ハード・ソフト面の検討を重ねた。

四、保護者とのつながり

次年度利用に向けた説明会を開催し、見学、意見交換などを行なった。保護者会への加入や施設便りの発行等は、次年度からとなる。

盲人ホーム

光の家鍼灸 マッサージホーム

盲人ホームの目的は「あん摩マッサージ指圧師、鍼師、灸師の免許証を有する視覚障害者であって、自営または雇用されることでの困難な者に利用させ、必要な技術等の指導を行い、その自立更生をはかる」となっている。

平成二四年度は男性二名、女性三名が施術業務に従事した。なお、鍼の施術師は、前年度に引き続き不在となっている。

施術実績は三一三六件(前年度三二六五件)で施術件数・金額共にやや減少した。

今年度も施術師の資質向上を図るため、指導員講師に三療の技術及び接客全般に亘る心得について指導して頂いた。